



博物館の窓

第85回

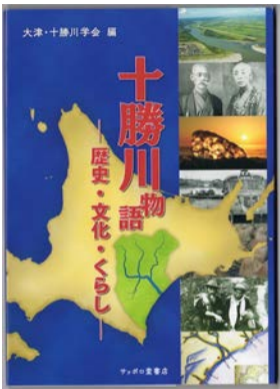
学芸員 持田 誠

豊頃町教育委員会に事務局を置く十勝地方の郷土史研究団体として、「大津・十勝川学会」があります。この学会の創立二十周年を記念して、このたび『十勝川物語―歴史・文化・くらし―』が発刊されました。

本書には、十一名の執筆者が十勝のさまざまなテーマについて、わかりやすく執筆しています。なかでも、浦幌町立博物館の初代学芸員である後藤秀彦さんが、本町周辺の遺跡について解説しています。

大津・十勝川学会と『十勝川物語』

かつては高校の先生などが、地域の郷土史研究の担い手でした。しかし、いまでは町村単位の郷土史研究会の多くが解散しています。大津・十勝川学会の存在意義は大きく、これからも地域の歴史研究の担い手として、発展が望まれています。



『十勝川物語―歴史・文化・くらし』
(サッポロ堂書店発行。町内では東栄堂で
購入できる。)